



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社

コード番号 6486 URL <https://www.ekkeagle.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理本部長 (氏名) 池田 澄男 TEL 03-3438-2291

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	36,440	5.2	3,258	11.9	4,558	103.4	2,893	134.3
29年3月期第1四半期	34,626	△5.4	2,913	△37.2	2,240	△57.4	1,235	△63.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 5,210百万円 (ー%) 29年3月期第1四半期 △5,239百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	59.21	ー
29年3月期第1四半期	25.36	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	161,287	78,425	44.3	1,462.37
29年3月期	160,658	74,484	42.2	1,387.72

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 71,526百万円 29年3月期 67,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	20.00	ー	25.00	45.00
30年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
30年3月期(予想)	ー	20.00	ー	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	72,200	6.1	5,200	5.0	6,800	55.6	3,600	65.0	73.63
通期	146,200	4.0	11,900	7.0	14,200	16.7	8,200	12.5	167.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	49,757,821株	29年3月期	49,757,821株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	846,368株	29年3月期	889,678株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	48,879,497株	29年3月期1Q	48,702,577株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は（添付資料）P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間における世界経済情勢は、米国においては緩やかな回復基調が続きましたが、追加財政政策の実施には、なお時間がかかる見込みも出てきました。欧州ではフランス大統領選挙及び英国議会選挙で極端な保護主義が否定され政治的な不透明感は後退し、実体経済にも回復の兆しがでてきました。中国経済もペースは鈍化しているものの持続的な成長を保ち、インド・東南アジアでは徐々に景気持ち直しの動きがでてきました。

一方、日本経済は、輸出関連等一部業種で業績回復の兆しが出てきていますが、依然まだら模様の状況で全般的には需要の弱い状況が続きました。

このような経済環境のもと当事業においては、自動車・建設機械業界向け事業は引き続き堅調に推移し、一般産業機械業界向け事業、船用業界向け事業においては依然厳しい市場環境の中、一部に需要回復の兆しも見られました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は364億40百万円(前年同期比5.2%増)、営業利益は32億58百万円(前年同期比11.9%増)、経常利益は45億58百万円(前年同期比103.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億93百万円(前年同期比134.3%増)となりました。

セグメント別の事業状況は次のとおりであります。

[自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、自動車向け製品の販売が堅調に推移するとともに、建設機械を含めた中国市場の回復もあり、当セグメントの売上高は239億47百万円(前年同期比8.4%増)となりました。営業利益は17億61百万円(前年同期比11.4%減)となりました。

[一般産業機械業界向け事業]

当事業は、国内半導体業界向け製品及びインドなど海外での販売が堅調に推移したことから、当セグメントの売上高は82億30百万円(前年同期比5.2%増)、営業利益は10億78百万円(前年同期比42.5%増)となりました。

[船用業界向け事業]

当事業は、新造船需要は引き続き低調に推移しましたが、修繕需要に回復がみられたことから、当セグメントの売上高は30億1百万円(前年同期比12.6%増)、営業利益は3億77百万円(前年同期比205.7%増)となりました。

[航空宇宙業界向け事業]

当事業は、前期に含めていた光工学業界向け事業の撤退に伴う販売減により、当セグメントの売上高は12億61百万円(前年同期比38.4%減)、営業利益は42百万円(前年同期比17.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産]

当第1四半期連結会計期間末の資産は1,612億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億28百万円増加いたしました。これは主として現金及び預金が41億86百万円、受取手形及び売掛金が10億50百万円、その他流動資産が5億84百万円減少した一方、有形固定資産が19億29百万円、電子記録債権が18億81百万円、投資有価証券が16億33百万円、仕掛品が8億18百万円増加したことによるものであります。

[負債]

当第1四半期連結会計期間末の負債は828億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億12百万円減少いたしました。これは主として電子記録債務が24億42百万円、賞与引当金が7億28百万円減少したことによるものであります。

[純資産]

当第1四半期連結会計期間末の純資産は784億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億41百万円増加いたしました。これは主として為替換算調整勘定が17億23百万円、利益剰余金が16億66百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内半導体業界向け製品が堅調に推移すると見込まれること、また、船用業界向け事業における修繕需要の回復も見込まれることなどから、第2四半期連結累計期間の連結業績予想を売上高722億円、営業利益52億円、経常利益68億円、親会社株主に帰属する四半期純利益36億円に、通期の連結業績予想を売上高1,462億円、営業利益119億円、経常利益142億円、親会社に帰属する当期純利益82億円に修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,663	18,477
受取手形及び売掛金	28,815	27,764
電子記録債権	3,725	5,607
商品及び製品	5,124	5,679
仕掛品	7,092	7,911
原材料及び貯蔵品	5,584	5,513
その他	8,107	7,523
貸倒引当金	△90	△71
流動資産合計	81,024	78,406
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,971	20,076
機械装置及び運搬具（純額）	20,010	21,466
その他（純額）	13,019	13,388
有形固定資産合計	53,002	54,931
無形固定資産		
のれん	3,622	3,516
その他	3,525	3,416
無形固定資産合計	7,148	6,932
投資その他の資産		
投資有価証券	13,613	15,246
その他	6,142	6,033
貸倒引当金	△272	△263
投資その他の資産合計	19,483	21,016
固定資産合計	79,633	82,880
資産合計	160,658	161,287

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,022	8,011
電子記録債務	8,912	6,469
短期借入金	13,279	15,754
未払法人税等	2,185	1,763
賞与引当金	2,345	1,616
その他の引当金	51	61
その他	12,244	12,175
流動負債合計	47,042	45,852
固定負債		
長期借入金	21,544	19,336
引当金	421	433
退職給付に係る負債	15,997	15,940
その他	1,167	1,298
固定負債合計	39,131	37,009
負債合計	86,173	82,861
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,395	11,395
利益剰余金	54,182	55,849
自己株式	△650	△565
株主資本合計	75,418	77,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	451	532
為替換算調整勘定	△2,871	△1,147
退職給付に係る調整累計額	△5,183	△5,028
その他の包括利益累計額合計	△7,603	△5,643
非支配株主持分	6,669	6,899
純資産合計	74,484	78,425
負債純資産合計	160,658	161,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	34,626	36,440
売上原価	25,830	26,967
売上総利益	8,796	9,472
販売費及び一般管理費	5,882	6,213
営業利益	2,913	3,258
営業外収益		
受取利息	38	46
受取配当金	14	9
持分法による投資利益	204	569
為替差益	—	411
その他	199	425
営業外収益合計	458	1,463
営業外費用		
支払利息	118	104
為替差損	973	—
寄付金	5	0
その他	33	59
営業外費用合計	1,130	164
経常利益	2,240	4,558
特別利益		
固定資産売却益	4	3
特別利益合計	4	3
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	20	16
債務保証損失引当金繰入額	—	8
特別損失合計	22	25
税金等調整前四半期純利益	2,223	4,536
法人税等	744	1,296
四半期純利益	1,478	3,239
非支配株主に帰属する四半期純利益	243	345
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,235	2,893

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,478	3,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58	80
為替換算調整勘定	△5,022	1,105
退職給付に係る調整額	159	186
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,797	598
その他の包括利益合計	△6,718	1,971
四半期包括利益	△5,239	5,210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,997	4,853
非支配株主に係る四半期包括利益	△242	357

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	舶用業界 向け事業	航空宇 宙・光工 学業界向 け事業	合計	調整額	四半期連 結損益計算 書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	22,093	7,820	2,666	2,047	34,626	—	34,626
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	24	5	—	74	△74	—
計	22,137	7,844	2,671	2,047	34,701	△74	34,626
セグメント利益	1,987	756	123	51	2,918	△5	2,913

(注) 1. セグメント利益の調整額△5百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	舶用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連 結損益計算 書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	23,947	8,230	3,001	1,261	36,440	—	36,440
セグメント間の内部売上高 又は振替高	63	23	3	—	90	△90	—
計	24,010	8,253	3,004	1,261	36,530	△90	36,440
セグメント利益	1,761	1,078	377	42	3,259	△0	3,258

(注) 1. セグメント利益の調整額△0は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント名称の変更)

当第1四半期連結会計期間より光工学業界向け事業から撤退したことに伴い、報告セグメントの名称を「航空宇宙・光工学業界向け事業」から「航空宇宙業界向け事業」へ変更しております。なお、当該変更によるセグメント情報に与える影響はありません。